

## Topics

### 林道の維持管理に携わり続けた功績が認められ



▲川上共有林組合長の横山健二さん

平成29年度治山・林道コンクールの第40回林道維持管理部門において、川上共有林組合(組合長・横山健二)に、林野庁長官賞が贈られました。

当コンクールは、森林・林業の振興発展の向上に寄与する林道の維持管理が優秀な路線を管理する団体を表彰することにより、林道の維持管理業務の推進と改善を促進し、通行の安全を保持することを目的として、毎年実施されています。

今回受賞した川上共有林組合は、「林道葛川線」を中心に、長年、林道の維持管理を行っている団体。昭和33年に林道が開設して以来、年複数回の除草作業、路面整地や側溝清掃などを継続的に行うほか、除間伐等の森林整備にも熱心に取り組んでいます。

長年にわたり、「林道葛川線」を地元の大切な財産として、適切な維持管理に努められてきた功績が認められ、今回の受賞となりました。

## Topics

### 身を持って歴史に触れる

「文化財サポーター講座・きほく鬼ッズふるさと探検」は12月16日、「ドキドキ土器づくり体験!!」をテーマに、中央公民館で行われました。

まず、子どもたちは、土器の歴史や種類など、土器について学習。その後、実際に土器作りを行いました。

ほとんどの児童にとって、初体験となる土器作り。この日は、国史跡等妙寺旧境内でも発掘されている、「土師質(はじしつ)土器」と呼ばれる素焼きのお皿作りに挑戦しました。ひものように引き伸ばした粘土を積み重ね、さまざまな道具を使いながら、お皿の形へと近づけていく子どもたちの表情は、真剣そのもの。児童たちは、納得のいく形になるまで、黙々と作業を行っていました。



▲丁寧に粘土をつなぎ合わせ、土器を作る参加者

## Topics

### 絵本で楽しむクリスマス

12月16日、中央公民館図書室で「クリスマスおはなし会」が行われました。

会では、クリスマスにちなんだ絵本である「フェアディのクリスマス」の読み聞かせを実施。朗読が始まると、子どもたちは、どんどんその物語の世界に魅了されていました。また、フェルト生地を使った、クリスマスらしい飾り作りも行われ、参加者たちは、一足早くクリスマスの雰囲気を味わっていました。

さらに、今回は、日吉中学生による読み聞かせも実施。町内の道の駅に設置されている鬼のモニュメント「鬼王丸」と「柚鬼媛」を題材として、中学生が独自に作成した「鬼の物語」が披露されました。手作りならではの可愛い紙芝居に、子どものみならず、大人も釘付けになり見入っていました。



▲「鬼の物語」を披露する日吉中学生